

# 総括質問

本市議会では議案への質疑と、市政などを問う一般質問を合わせて行い、それを「総括質問」としています。今定例会では、12人の議員が総括質問を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介します。

★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

## 清風クラブ



『夢ある未来』平塚を創る

片倉 章博 議員

問 本市の北の核であるツインシティ大神地区での、令和元年度から4年度までの固定資産税、都市計画税の推移を伺う。

市長 元年度は大きな変化はなかったが、2年度から新たに立地した事業者に順次課税を開始し、2年度は約7千万円、3年度は約1億5千万円、4年度は1億3千万円を課税している。元年度と比べて4年度は約3億5千万円の増額となっている。

### ■南の核(中心街)

問 令和4年3月にひらしん平塚文化芸術ホールが開館し、同年7月には北口エスカレーターの利用開始と中心街地周辺の整備が完了した。ひらつか市民活動センターまつりや大門市が3年ぶりに開催され、多くの市民が参加し、中心街の活性化の必要性を改めて感じたところだが、平塚駅周辺地区アクションプランの進捗状況と、新たな施設、施策などの検討は行っているのか伺う。

市長 現在までの経済効果は、国道129号西側の物流施設開業などで約350億円と試算している。まちはらき後の経済効果は、大型商業施設や複数の物流施設の開業により、5年度は約250億円、6年度は約930億円と試算している。換地処分後の10年間で建設効果や操業効果により累計で6100億円に到達

市長 アクシオンプランについては、現在他市の事例などの調査を進めており、今後は地権者などへのヒアリングを実施し、さまざまなニーズに対応した支援策を将来構想と合わせて6年度に策定予定である。まずは再開発などを見据えた敷地共同化を進めるため、初動期に必要な支援策を検討しており、アクシヨ

ンプランの策定を待たずに早期の運用を目指す。

問 平塚市優良建築物等整備事業に於いてだが、平成17年以降、中心商店街で優良建築物は建設されていない。中心商店街で整備ができるよう、区域を広げることが必要と考えるが見解を伺う。

都市整備部長 区域の変更を2度ほどしており、現在の区域が適切かどうかを含めて、将来構想の中で検討していき、また、いろいろな事業者からヒアリングを行っていくので、その中で検討していきたいと考えている。

問 工業などは誘導のために固定資産税の減免がある。中心街は店舗誘致の補助金はあるが、固定資産税の優遇措置も必要だと思ふ。見解を伺う。

総務部長 他自治体では、中心市街地の活性化のために商業施設に対して減免のような形を行っていることは承知しているが、税の優遇措置を行った場合は実際に誘致ができたかどうか、実績が求められると考える。制度については関係部

署とともに、今後考えていきたい。

### 農業・工業・商業に對する支援の成果

問 市長は就任以来さまざまな事業に対して施策を打ち出し、いろいろな効果が出てきている。令和5年度もスマート農業に対する推進をしていきたいという要望も上がってきている。5



何が起きるか分からないまさかの時代、どうする

野崎 審也 議員

### マイナンバーカード推進

問 本市のマイナンバーカードの申請と交付状況について伺う。

副市長 令和4年11月末現在の本市の申請件数は17万6974件で申請率は約69%。交付枚数は14万4543枚で交付率は56・5%である。

問 カードの活用策を伺う。

副市長 コンビニエンスストアなどで住民票などの諸証明を受け取れるコンビニ交付や、この仕組みを活用し、諸証明窓口受付システムを運用するなど有効活用

### 健康増進について

問 本市にゆかりのある地域などを歩いて巡ることや、新たなまちの価値や愛着が生まれると思うが見解を伺う。

社会教育部長 年数回、ひらつか文化財ガイドボランティア協会が本市の文化資源を巡る講座を行っている。引き続き地域の魅力発信などをしていく。

問 家康が愛飲した酢の再現や家康弁当の商品開発など、健康と食文化の活性化への支援を伺う。

産業振興部長 平塚市観光協会が主体となり、観光庁の補助金を活用し、事業を行っている。市は本事業の情報発信などさまざまな支援を行っている。

### 子育てするなら平塚で

問 海岸エリアのマンション建設に伴い、保育や教育に与える影響を伺う。

企画政策部長 当該地区の保育所などの入所申し込み状況などを踏まえ、黒部丘に建設中のマンション内に小規模保育事業所を整備し、令和5年4月に開所予定である。小中学校については現状で対応できると考えている。

問 ひらしん平塚文化芸術ホールでの車いす対応について伺う。

### 声や点字の議会だより

目の不自由な方に市議会の活動をお伝えするため、議会だよりの内容を朗読した「声の議会だより」を発行しています。また、点字版も発行しています。ご希望の方は議会局までご連絡ください。



問い合わせ  
議会局 ☎21-8791

### 議会図書室のご案内

議会には、議員の調査研究のため、図書室の設置が法律により義務付けられています。本市議会では、開かれた議会とするため、市役所本館8階の議場前の開放したスペースに議会図書室を設け、市民・議会・行政が共同で利用できる環境をつくりました。



### インクルーシブ保育

問 保育士の処遇改善や離職率低下の観点から障がい児加算の補助制度拡充が必要と考えるが見解を伺う。

健康・こども部長 関係機関の支援やサポート体制を併せて整えることも支援の1つの形となるので、複合的に進めながら、受け入れ態勢を整えていきたい。

### 心のバリアフリー

問 ひらしん平塚文化芸術ホールでの車いす対応について伺う。

市民部長 指定管理者が定期的に研修を実施し、必要な場合には補助するなど丁寧かつ適切な対応に努めている。

### 災害に対する意識啓発

問 津波から逃れるために重要なことはなにか。

防災・危機管理監 日ごろから自宅周辺の津波浸水想定区域や避難経路などを津波ハザードマップで確認し、早期に津波避難ビルなど高い建物に避難することが重要である。